

令和5年度第1回男女共同参画社会推進会議 会議録 (要旨)

- 開催日時 令和5年7月14日(金)午後7時00分～午後8時45分
- 場所 宮代町役場2階202会議室
- 出席者 委員 武井喜代美 渡辺久剛 田中政義 浅利克比古
事務局 野口室長 鈴木主任
- 傍聴者 0名

1 次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ①令和5年度事業計画(案)について
 - ②男女共同参画情報誌・セミナーについて

2 会議概要

- (1) 開会
出席メンバー4名。
男女共同参画社会推進会議設置規程第6条第4項に基づき会議を開会しました。

(2) 議題

- ①令和5年度事業計画(案)について
事務局より事前配布資料に基づき説明。

②男女共同参画情報誌・セミナーについて

(田中委員) 前回のアサーションの講座は、どのようにして講師を見つけたのですか。

(鈴木主任) この会議のメンバーの方が受講したことがあり、とても良かったためぜひ宮代町でも開催したいと、メンバーを通じて講師にお声がけさせていただきました。今日はテーマだけでも提案いただければと思います。

(田中委員) 自己承認欲求。それが満足されていないと、自分の気持ちの軸がぶれてしまう。軸に関しての話が聞けたら面白いと思う。もう一つは、今、頭の神経組織の画像がとても進んでいて、今何を考えているのかなどが分かってしまう。認知科学というものにも興味があります。

(浅利委員) 多様な働き方実践企業の紹介をセミナーで行ったらよいのではないか。事例として発表していただくと参考になると思います。

(鈴木主任) 確かにこれまで情報誌で取り上げることはありましたが、企業の発表の機会というのはなかったので、それもセミナーになるかもしれないですね。町内の企業であれば町民も親しみやすく、企業の内のことは知らない部分が多いので、町の企業の取り組みを発信することはよいと思います。

(浅利委員) 町民の方、企業の方をこのように紹介できるのは面白いですね。その場合、

取材をすることになりますよね。

(鈴木主任) 取材をします。

(浅利委員) 情報誌の右下にある「宮代輝き美人」ですが、最近このようなものが多くなってきている気がします。

(鈴木主任) これは宮代輝き美人と題して宮代町で生き生きと元気に輝いている方を掲載させていただいています。これも資料①にあります通り、これまでに3人の方を取り上げてきました。このコーナーは今年度も引き続き作りたいと思っています。

(武井委員) ここのところ、芸能人の自殺とか自殺未遂などが短期間で報道されましたね。自殺未遂の方は、パワハラを指摘されたことが原因なのか、介護が原因かは分かりませんが、2日前はLGBTQの関係で残念ながら亡くなってしまいましたね。そうすると、やはりこのようなニュースが出るたびに相談窓口の案内があって一人で悩まないでと出ていますが、実際に宮代町でも女性相談や人権相談のなかでハラスメント関係、介護関係、LGBTQなどのご相談がどれくらいあるのか分かりませんが、もしあったとしたら、その相談を受けている方から もちろん個人は特定できないようにする形ですが、実は宮代町でもこういったご相談は受けていて、悩んでいる方は身近にもたくさんいることや、その方にどのようなアドバイスの仕方を含めて、もし参加されている方のなかで似通った悩みや心の引っかかりをもっている方にヒントやアドバイスのようなものが掴んでもらえればよいと思います。もし宮代町でそういったことがあまりないということであれば、埼玉県男女共同参画推進センターで県内の相談を受け付けていると思うので分かると思います。身近に悩んでいる人がいるのだから、皆さんも一人で抱えないで、相談機関はこんなにありますよと、最終的にお知らせにつながるようなセミナーがあってもよいのではないかと思います。

(渡辺委員) その関連で言いますと、駅に「いのちの電話」などのポスターが貼ってあると思うのですが、私はたまに寄付をするので会報などが送られてきます。東京にも埼玉にも拠点がいくつかあるのですが、講演などをやっているようなので、連絡してみるとよいのではないかと思います。

(鈴木主任) 実際、宮代町でも女性相談を行っておりますが、年々件数が増えてきています。なかでも最近ではDVの相談も増えてきているのが現状です。LGBT関係の相談については多くはないですが、実際に悩んでいる方がいるのは確かです。町では職員を対象としたLGBT研修を開いております。職員だけではなくて今後は民生委員さんや商工会を通じて企業の方、町民の皆さま向けの研修会を行いたいと考えています。

(野口室長) 一昨年は、新規採用職員と一緒に議会議員にも研修会に参加していただきました。基本的には町の職員全員受けております。昨年パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を始めまして、婚姻制度とは違いますので法律上の縛りはありませんが、近隣の市町でも始めていますので、市町がお互

いの関係性を認めるというものです。どうしても法律ではないので、相続や税金控除などはできませんが、県営住宅の同居が可能になったり、生命保険の受取人になったり、携帯電話の家族割が適用になったりサービスが始まってきています。また、先ほど自殺のお話がありましたが、町では「自殺対策計画」というものを保健センターの方で作っておりまして、相談も保健師が電話相談や対面相談を受けています。

(浅利委員) よく分かっていないのですが、LGBTの内容は男女共同参画のテーマの一つにもなるのですか？

(野口室長) はい。なります。

(渡辺委員) 町や県の取り組みを聞くのも大事かもしれませんが、一番悩みがある人の近くにいる寄り添うことや話の聞き方、相談の受け方のレッスン、出前講座などがあるようなので、例えばそのようなものを利用するとよいと思います。恐らく「あなたが悪いのではない。社会がそのようにしているので、自分を責めないように」というような内容だとは思いますが。

(鈴木主任) ちなみに、昨年セミナーを受講していただいた方にアンケートを実施しましたが「どのようなテーマでセミナーを行ってほしいか」という問いに、①町の事例や企業の事例の発表会②子育てと仕事の両立③心の学び④コロナ後の良い生き方⑤コミュニケーション関係⑥年齢別の男女と話し合える場が欲しい⑦5年10年後の宮代町の将来、学校の在り方、教育者に望むこと⑧アンチエイジング、認知症などといったテーマが挙げられました。また、どのような方法で受講したいですかという問いには57%の方から「会場で対面で受講したい」という声があがりました。コロナ後、数年ぶりの対面でのセミナーということもあり「対話ができ嬉しかった」「対面の方がコミュニケーションがとりやすい」「オンラインは便利だけど共感できるというより事務的になってしまうので対面がよい」「オンラインだと聴くという姿勢に欠けるので、会場に足を運んでその場の空気を感じたい」「ハイブリッドがよい」という声がありました。

(浅利委員) 私はハイブリッドは賛成です。新聞で色々なテーマを見かけて、時々ZOOMを申し込むのですが、自宅にいながら見られるし臨場感も伝わってきますし、対面とZOOM等の両面のやり方がよいのではないかと思います。

(鈴木主任) 公開して良い内容であればハイブリッドはよいと思います。昨年のアサーション講座は個人の悩みなどを発表していただく場があったので、どうしても個人情報を流すことはできないのでできなかったのですが、内容が大丈夫であればそのような方法もよいと思っています。

(田中委員) 個人情報はとても難しいですね。どこで線引きをするかということは素人ではなかなか難しいと思う。

(鈴木主任) 内容や講師の判断にもよると思います。

(田中委員) ZOOMでやったことがあります。スピードを調整できればよいのです

が、スピードが速くてついていけなかったことがありましたので。

(野口室長) 録画を見る場合は調整がききますが、同時中継の場合ですと難しいですね。

(鈴木主任) 今皆さんからテーマをまとめますと①自己承認欲求②認知科学③多様な働き方実践企業④最近の話題（介護・パワハラ・LGBT等）の出前講座が挙がりましたがいかがでしょうか。

(田中委員) 男性向けに「チャーハンの作り方講座」はいかがでしょうか。なかなかうまくいかないものですね。

(浅利委員) そういうものは、広報の新しい村の記事に時々載っていますよね。農の家ですかね。

(鈴木主任) 新しい村ではイタリアン料理講座などを行っています。男女共同参画のセミナーとしてやる場合には、男女共同参画という視点で例えば「男の料理教室！チャーハンの作り方」などでしょうか。男性と限定するかは検討が必要ですが。

(武井委員) 今、聞いていて思ったのですが、チャーハンは割と短時間で作るイメージがありますよね。子育て中の女性などが子どもをあやしながら短時間で作れたり、お勤めをされている方が仕事が忙しくなってしまう帰りが遅くなくても短時間で作れるというように、男性にしても今までは厨房に入らなかったけれど、自分で作って食べたいという方もいらっしゃると思いますし、「男性の料理教室」というものをメインタイトルにしても、女性も歓迎にして「忙しいあなた、短時間で美味しいものを作りませんか？」というような感じでもよいのではないかと思います。

(田中委員) カツ丼作りもいいですね。

(鈴木主任) 宮代町の商工業者さんと組む形でもよさそうですね。

(武井委員) 例えば、カツ丼を手抜きで作ろうと思ったらトンカツを買ってきて、それを家でどんぶりにすれば短時間でできますよね。そのように、出来合いのものを利用してひと手間かけて短時間で美味しいものを作りましょうというものもよいと思います。

(浅利委員) それもよいのですが、宮代と言えば宮代餃子ではなかったですか。どうせやるのであれば餃子の方がよいのではないのでしょうか。

(渡辺委員) お店に行ってやらせてもらうのはいかがですか。いっそのことお店に行ってやらせていただくのはいかがでしょう。

(鈴木主任) 農の家、村の集会所を借りるという手もありますね。

(渡辺委員) 冷凍食品を美味しく食べるというのも良いかもしれませんね。メーカーの人が来てやっていただければ。あとは、宮代町には美味しいパン屋さんがたくさんありますので、和e輪eのようにできれば。三世代で取り組むパン作りなど。窯がないとだめですけどね。

(鈴木主任) 宮代町は協力してくれる商工業者さんがたくさんいます。産業観光課の方では「事業者の話を聞く会」として町内の商工業者さんを講師に招いて中

学生を対象に実施していました。男女共同参画の視点でということになると、先ほどあった時短レシピというところで商工業者さんとコラボをするのは良いのではないかと思います。共働きの方も多いと思いますので家事を共同でやるとか、時短というキーワードは若者にとっても興味を引いていただけたと思います。

(浅利委員) もうひとつ入れて2部構成にするのはいかがでしょうか。

(鈴木主任) できると思います。多様な働き方企業には認定されていないけれど、社員が働きやすいように取り組んでいることの紹介をしながら料理教室を行うということもできるかもしれません。

(浅利委員) 参加者の数はたくさん来ていただいた方がよいのですか。ある程度限定した方がよいのですか。

(野口室長) 内容と会場にもよるとと思います。昨年2月の時は図書館研修室でしたので、25名くらいでした。料理教室をやるのであれば、進修館の食堂ですとか、村の集会所ですとかが可能と思います。講師の方に作っていただくのを見るのか、受講生も作るのかにもよるとと思います。

(浅利委員) 時間的なことを考えると、講師の作っているところを受講生が見てという方がよいのではないかと思います。

(鈴木主任) 受講生も作ってとなると衛生面でも気をつけなければいけません。

(浅利委員) なかなか体験までは難しいかもしれないですね。進修館であれば、食堂があり会議室もあるので2部構成ができると思います。

(鈴木主任) 新しい村・村の集会所でもできるかもしれないですね。大きな机もありますので、学びながら料理も見るということができると思います。事業所のものと料理教室というような流れがありますが皆さんいかがでしょうか。

(田中委員) 失敗してもいいからやってみないですかね。前に進みませんから。

(浅利委員) 2部構成ということで1部は企業の事例の話ということでもよいですか。

(鈴木主任) この多様な働き方実践企業について説明をさせていただきますと、これは宮代町で認定されている企業の一覧となっています。埼玉県で基準を設けていまして、9項目中7~9該当するとプラチナ、5~6該当するとゴールド、3~4該当するとシルバーに認定されます。宮代町役場もゴールドとなっており、楯をもらっています(楯を見せる)。男女共同参画について進めていく町が認定されていなければということで、宮代町も色々な取り組みをしていますので、ゴールドをいただいております。

(田中委員) 町の職員さんは育児休暇とられましたか？

(野口室長) 私は取っていないですね。制度がなかった。

(浅利委員) 企業に話してもらうのがよいと思います。

(鈴木主任) 働き方実践企業のなかからセミナーで講演をしてもらうとすれば、この表にある企業の中から選んでいただくことにはなりますが、飲食のお店がこの中にはないですね。認定はされていないけれど、企業のアピールをしていただくのはよいと思いますね。

(浅利委員) それはどうやって調べるのですか？

(鈴木主任) 取材をするしかありません。

(浅利委員) この表には実践している企業が載っているのですが、ここからノミネートした方がよい気がします。一番●の数が多いところが実践しているイメージです。

(鈴木主任) 資料で青いマーカー部分は既に取材済みで過去に掲載している企業となります。今までの会議の流れから言うと、ゴールドを受賞した企業から紹介をしていますので、未掲載の企業は伊草建設、宮代町社会福祉協議会、宮代町役場の3つとなります。

(浅利委員) その中からお願いできる企業を選ぶというのはいかがでしょうか。

(鈴木主任) 情報誌のみでしょうか、セミナーを含めてでしょうか。

(浅利委員) セミナーとしてです。情報誌に載っていても、もう1年前や2年前の話ですよ。1年に1回しか出さないでしょうから、セミナーと情報誌は同じ企業でもいいと思います。

(渡邊委員) 裏の話をしますと、ふらふーぷの記事は相当苦勞をして書いています。企業からお願いをされて掲載している訳ではなく、こちらから企業に依頼をしているということもあり、セミナーで話してくださいとお願いしても受けてくださるかというところだと思います。

(田中委員) こちらが題材を提供しないとイケませんね。

(鈴木主任) 確かに、取材からこの紙面を作るまでに結構時間はかかっています。コロナ禍の時は対面で取材ができず、電話と資料の郵送でのやりとりで進めました。紙面の校正も、メンバーのみなさんにやっていただくことになりましたので、時間を要します。情報誌に並行してセミナーということになります。

(田中委員) 企業の負担が大きくなりますよね。

(鈴木主任) お金の話になりますが、セミナー講師料を予算として持っておりますので、ご協力をいただいた場合にはお支払いさせていただきます。

(田中委員) 講師料は1時間あたりどのくらいですか。

(鈴木主任) 講師によって違いますが、これまでは1回の講演で3万円というのが多かったと思います。

(田中委員) もう一桁増えればやってくれると思いますけどね。

(浅利委員) 一般の知識人であればそれくらいかもしれませんが、企業だったら自社をアピールできる訳なので、そういう機会を提供するという意味では逆に喜んで来ていただけるのではないのでしょうか。

(鈴木主任) 実際、この情報誌を出した時に「うちの会社を載せてもらえますか」という問合せを受けたことがありましたが、多様な働き方実践企業に認定されている企業を掲載させていただいていることをお伝えしました。

(浅利委員) このような時代なので、各企業も実践しようとか社内に取り入れようとしていると思います。段々と増えていくのではないかと思います。ゴール

ドから紹介していますというような説明があれば良いと思います。

(鈴木主任) ゴールドで該当項目が多くてとなりますと伊草建設さんになるとは思いますがいかがでしょうか。

(浅利委員) 項目の内容を具体的に話していただければ、参考になるのではないかと思います。他の企業も参考になるとは思いますし、自分の会社に応用したいと思う町民も多くなるとは思います。

(鈴木主任) 例えば講演という形で企業にお話しをいただくとして、先ほどあった料理教室などをやっていたとされた時に会社によっては難しいですよ。

(浅利委員) 料理作りは別のお店にやっていたらよいのではないのでしょうか。建設関係の製品とか、一般の方に展示即売ができれば面白いと思います。それを1部にして、2部では料理教室という形はいかがでしょう。セミナーで講演いただいた企業を情報誌でも掲載するというだけでもよいと思います。

(鈴木主任) セミナーを交渉しながら別の会社に情報誌の取材をするとなるとなかなか難しいかもしれません。もしそのような方向性でいくとすれば、去年は情報誌に2社掲載しましたが、1社にいただければ紙面を作りながらセミナーの調整もできますので時間的にも良いと思います。

(渡邊委員) 2部制にするとなると、ある程度関連性がないといけないと思います。来る方どういった目的で来るのかということもありますので。

(武井委員) 宮代町の社会福祉協議会はヘルパー業務をやっていて、多様な働き方実践企業のゴールドを受けているので、このようなサービスを提供していますよという情報とPRを兼ねながら多様な働き方実践企業として取り組みを紹介していただくのはよいと思います。ヘルパー業務のなかには調理も入ってくると思うので、限られた時間の中で作る時短レシピを紹介していただくのはいかがでしょうか。

(鈴木主任) ヘルパーさんは限られた時間の中で利用者さんに提供しなければならぬとなると、きっと色々なレパートリーがあるかもしれないですね。

(武井委員) 短時間で簡単に、それでいて結構評判のいいレシピは、日常生活の中で役に立つものがあるかもしれないですね。

(田中委員) 決まりましたね。

(鈴木主任) 2部制になったとしても紹介しやすいと思います。ヘルパーさんのレシピ、気になりますね。

(武井委員) 短時間で美味しいものを作っているイメージがあったので、共働きの方とか男性の方とか忙しい方にとっても参考になることがあるのかなと思います。

(浅利委員) 社会福祉協議会は、名前は聞きますがどのようなことをやっているところなのかあまり知らないなので、そのような話をしていただいても良いのかなと思います。

- (鈴木主任) それでいくとすれば、情報誌の多様な働き方実践企業の紹介は宮代町社会福祉協議会のみでお願いしたいと思います。
- (浅利委員) 良い宣伝になると思いますよ。
- (武井委員) 紙面に余白があったら、セミナーで紹介するメニューのレシピを載せても良いですね。そうすれば、セミナーに来られなくても参考にしようと思う人もいるかもしれないし、それを見てセミナーに来てくれる人もいるかもしれませんよね。
- (田中委員) 良いですね。
- (渡邊委員) 会場も先方に聞いて、進修館にするか新しい村にするか決めてもらえば良いですね。すてっぷ宮代の中は人が集まる会議室や厨房などはあるのですか。
- (鈴木主任) 会議室はありますが、厨房は分からないので確認してみます。それでは、今年度のセミナーと情報誌については、多様な働き方実践企業でゴールドに認定されている宮代町社会福祉協議会とし、私の方から打診をさせていただいてもよろしいですか。
- (全 員) はい。
- (浅利委員) 社会福祉協議会は色々な役割を担っていると思いますので、色々な内容があって良いと思います。
- (野口室長) 表を見てみると、7の項目はどこの企業も●がついていないですね。
- (鈴木主任) 男性の育児休業のところですね。宮代町では男女共同参画プランにも数値目標が設定されています。
- (武井委員) 男性職員の育児休業のことですが、1週間や2週間取る方もいるのでしょうか。
- (鈴木主任) 育児休暇は取っていても、1週間、2週間休むという職員はなかなかいないのが現状というところですね。なかなか業務上難しいところもありますが、それを推奨しています。宮代町も町長がイクボス宣言を行いました。
- (田中委員) イクボス宣言というのは何ですか。
- (鈴木主任) 職員の育児、介護、ワークライフバランスを町長が応援するという宣言です。
- (田中委員) みつなみ会というのはどういう事業を行っている会社ですか。
- (鈴木主任) みどりの森などの介護事業を行っている事業所になります。そうしましたらある程度決まりましたので、あとは私の方で進めさせていただきます。また、「宮代輝き美人」ということで、宮代町で生き生きと元気に輝いている人にお話しを伺う企画ですが、ぜひこの方を掲載したいなどはありませんか。
- (渡邊委員) 押田美代子さんはいかがでしょう。おひな祭実行委員長をされている方ですかね。今年で4回目で認知度も上がってきていると思います。
- (鈴木主任) 以前メールで、酒屋を営んでいる白石さんはいかがでしょうという問合せがきました。酒屋を営みながら、地域の子どもの登下校を見守り続け

ている方と聞いています。

(浅利委員) 何かを実践されている方なら良いと思います。あとは、一つよく分からなかったのですが、多様な働き方実践企業の企業は大きな組織体だと思っ
ていますが、個人の事業主はこれに該当しているところはあるのですか。

(鈴木主任) 調べてみます。

(浅利委員) 個人事業主ですと、9項目が該当しないものになってしまいますね。

(鈴木主任) 男女共同参画プランの数値目標でも認定企業を増やすという目標がありま
すが、少ない従業員の事業所の場合どうなのかなどは調べてみます。

(浅利委員) もし個人事業主が多様な働き方実践企業の認定を受けられないとしたら、
宮代輝き美人の方で紹介できたらなと思いました。

(鈴木主任) 押田さん、白石さん、個人事業主の方を紹介するという案がでましたが、
いかがでしょうか。

(田中委員) 今でた方たちに声をかけてみるというのはいかがでしょう。全員が賛成
してくれるとは限りませんので、賛成してくれる人が多数いたら、また来
年度お声がけさせていただければ良いと思います。話の持っていき方です
ね。

(鈴木主任) では、輝き美人については3人の方の中からお声がけさせていただきたい
と思います。それでは大体の方向性を決めることができましたので、事務
局の方で調整をしながら皆さんに報告させていただければと思います。次
回の会議は8月を予定しておりますが、日程調整につきましては後日させ
ていただきたいと思います。長時間にわたりありがとうございました。第
1回男女共同参画社会推進会議を終了とさせていただきます。

3 閉会

■次回の会議

令和5年8月の予定。今後あらためて日程調整する。